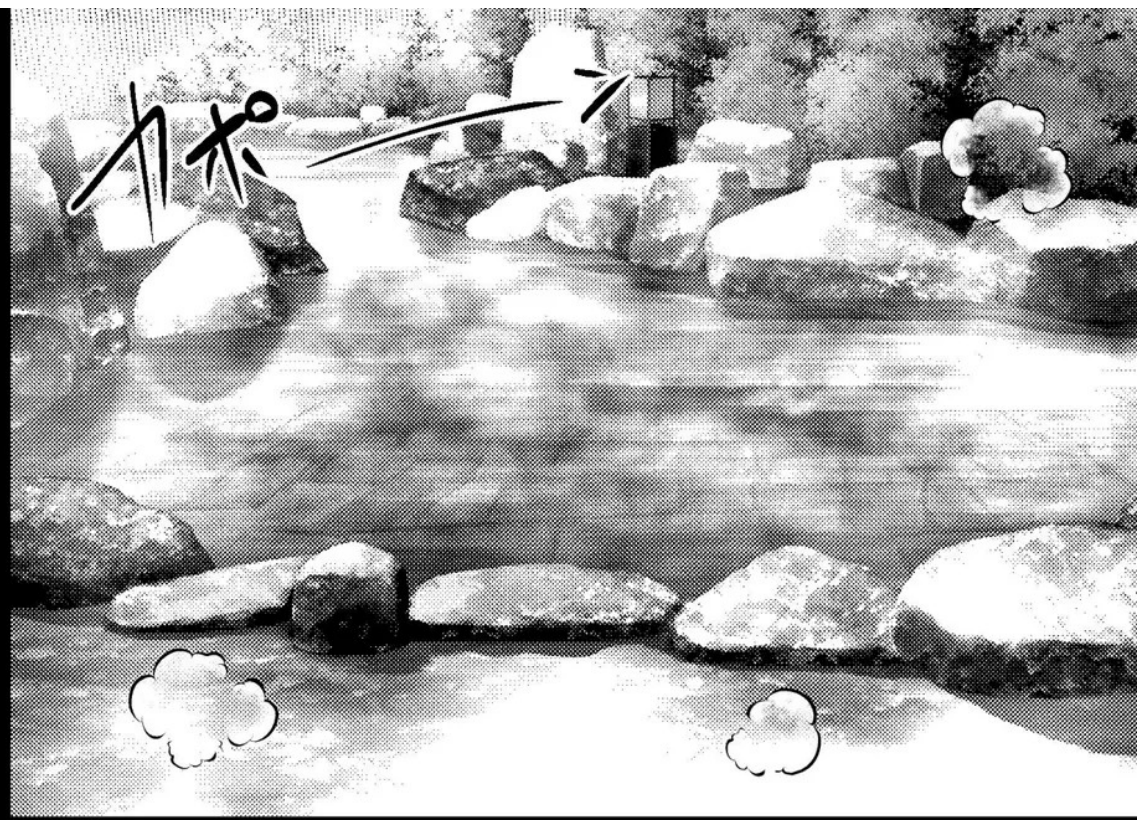




Father's purification rituals

火火の受難

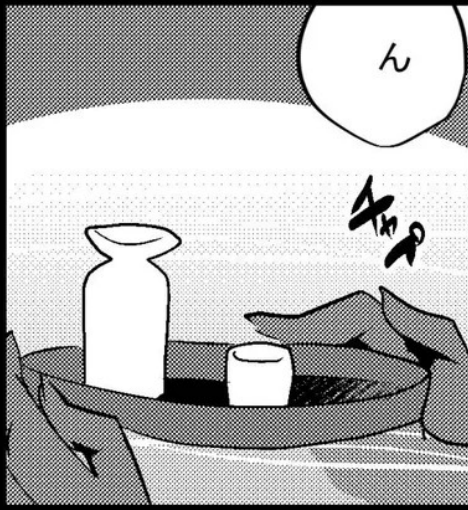


シリンが小さい頃は
よく一緒に入ったものだが
もうお年頃だし…



夜は静かでよい…

ふう…
疲れた体に浸みるな…





うん...

飲みすぎた...

いや...のぼせたのか...
クラクラする...



これは...
ケガレ...??



?





しまった！



ジュウ...



また飲み込まれる
わけには...



息が...





体がしびれるような
感覚だ

このままだと...



耳の中まで...



ふぐう?!

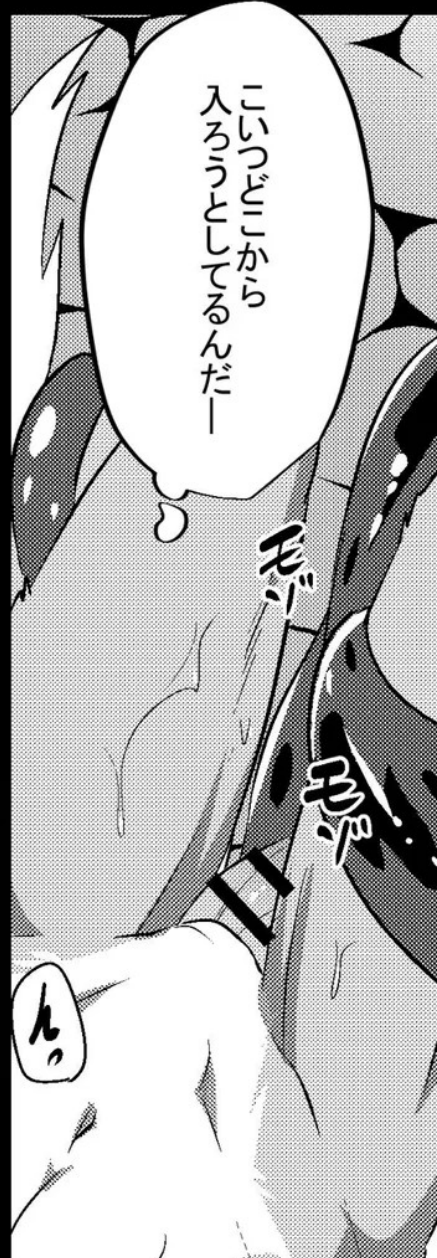
モゾ



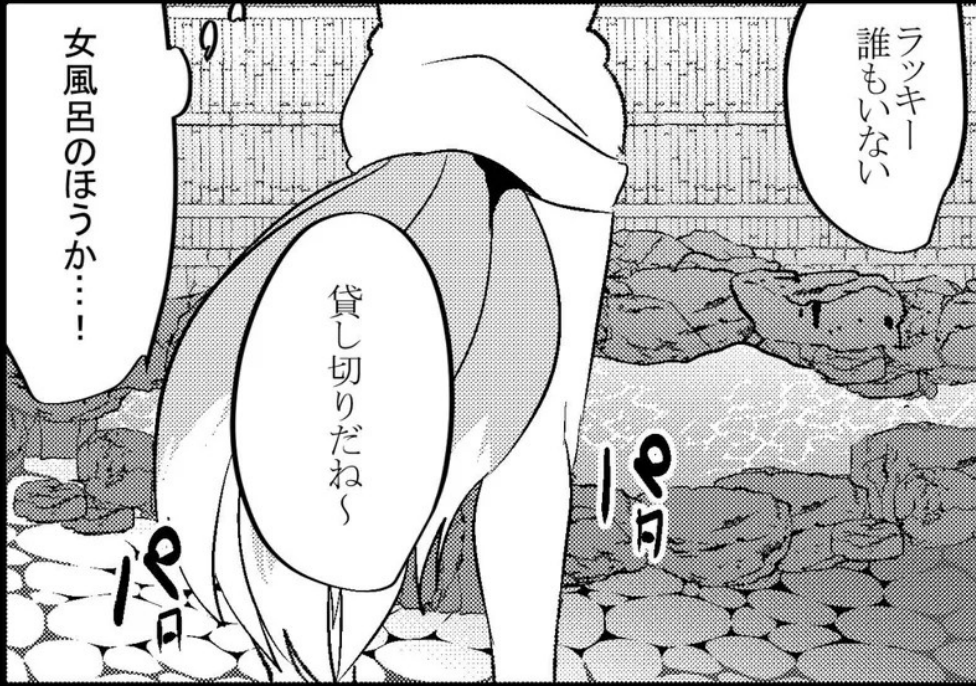
仕方ない今は
耐えて機会を



侵入できるなら
おかまいなしなのか



こいつどこから
入ろうとしているんだー



ラッキー
誰もいない

貸し切りだね

女風呂のほうか…!



人—?



助けを呼ぶべきか…

いや紳士たるもの
淑女にこのような姿を
見せるわけには…



液体のせいかな?
体が妙に火照っている

うまく動かな…



ムズムズして...



ケガレが体中を
はいずるたびに...



体が敏感に
なっていて...



変な声
が出てしまう!!

しゅっしゅっ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



ダメだーっ



下半身に熱が
集中していくっ

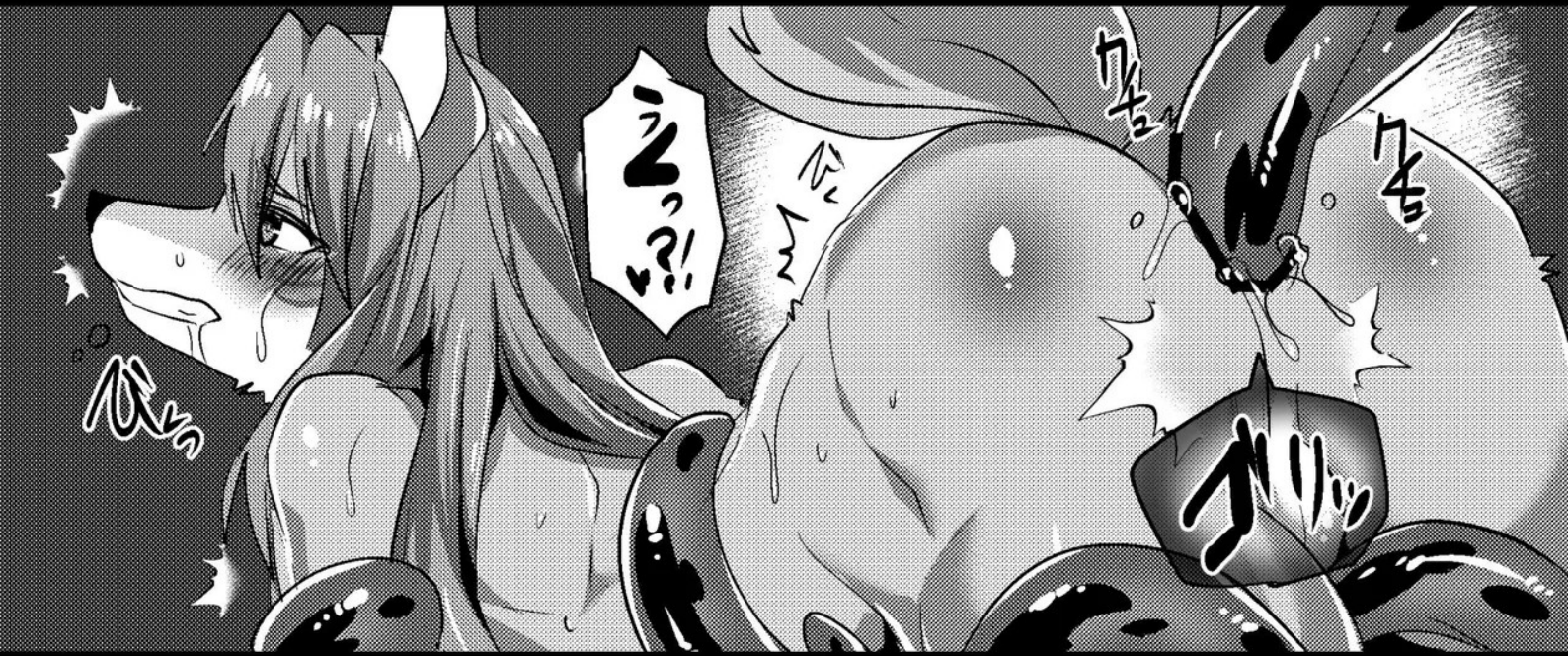


くそっ…
こんなもので…



幸い向こうは
シャワー中みたいだが…

どうやって
抜け出せば…



うっ?
?!

カキ

カキ



体勢を変えたら
刺激が強くなった—!?

あたりどころが
悪かったか…



このままではまた…
娘に迷惑をかけてしまう
それは避けないと――

なんとかか出口に
いかねば…



くっ――
本気で仕留めにか
かるつもりか――！





今なら体も
動く



カ
カ
カ
カ
カ

燃えるー！



誰だかわからないが
バシなくてよかった



となりも静かだし…
上がってくれたか…



—なんとか
なったな…

ほめ
ほめ
ボト
ボト



あら？
お父様も
入ってたのね！

シ…シリン…
いつ…？

さっき上がったとこよ
いるなら返事して
くれてもよかったのに



きやー!?大丈夫?
また長湯してたんじゃ…!
どおりで変な声が
聞こえると思つたら
のぼせてたんでしょ!

う…う…ん…



まさか…
さっきの聞かれて…

FIN

アリスブックス

booth

思わぬ形で一緒に入れることになったねえというお話です
お父さんは入るんじゃなくて入れられたんですけどね
てかゼンパバの資料ほとんどなくてもう口調とか設定とかねつ造ゆるして
お読みいただきありがとうございました



※この本の未成年者の閲覧・購読を禁じます。
また許可なしに本の中身のネットへのUP・無断転載・
二次配布・ネットオークションへの出品は絶対におやめください。
皆様のご協力とご理解をよろしくお願いします。

発行日: 2018/04/30
発行者: 瑠璃燕 (Pixiv id=300876)
印刷所: 栄光印刷
連絡先: kimuchinabe_naruga@hotmail.co.jp

pixiv

